



# コスモス

NO.23 HP用

校訓：支え合い 学び合い たくましく  
学校教育目標

「ふるさとを愛し 志をもって  
チャレンジする人を育てる」

## 陸上記録会でのがんばり！！

三観地区小学校陸上記録会が10月9日に観音寺市総合運動公園陸上競技場で行われました。財田小学校からは、24名の5・6年生が出場しました。100m・80mハードル・走り幅跳び・走り高跳び・ジャベリックボール投げの個人5種目と4×100mリレーです。三豊市・観音寺市内29校の小学校から、約700名の5・6年生が出場しました。全員共通の目標は、「自己ベストを出す」でした。そのためにやるべきことはたくさんありますが、「自分の全力を出し切る」ことが大事です。しかし、闇雲に力を入れて走っても、強引に跳んだり投げたりしても、最高の力は出ません。全力を出す秘訣は、無駄な力を抜く（リラックス）ことであり、平常心で臨むことです。

しかし、100m・80mHは1回、幅跳び・高跳び・ジャベボール投げは3回しかチャレンジできないので、自分の最高記録を出すことは簡単なことではありません。また、トラックはタータン（ゴムの樹脂）なので、反発力があり好記録が出やすいですが、走る感覚が運動場の土とはかなり違います。高跳びや幅跳び、ジャベボール投げは、助走路がタータンです。高跳びは着地が普段のマットと違います。幅跳びは、反発がある分助走の距離が全く違ってくるので、助走距離を調整して踏み切り板に合わせるのがかなり難しいです。ジャベボール投げは、風の影響を受けやすいです。等々難しい要素があります。また、本番のプレッシャーもあります。普段の練習通りに動けない場合もあります。自分の全力を出し切ることは、なかなか難しいのです。

そんな中、自己ベストを出せた人は、よくぞやりました。おめでとうございます。また、出せなかった人も、ガックリすることはありません。そういうこともあります。11月にある本年度最後の大会や5年生は来年度の記録会、また、他の様々な場面で自分の全力が出るようチャレンジすればいいのです。

また、上位に入賞して、11月初めの県大会への出場をつかんだ人もいます。おめでとうございます。これからさらに磨きをかけて、県大会でも自己ベストを更新できるようにがんばってくれることと思います。



なお、今回の8位入賞は、

※HP用には、児童氏名は掲載しておりません。

- |                |    |             |
|----------------|----|-------------|
| ・6年女子走り高跳び     | 5位 | 1m18cm（県出場） |
| ・5年男子80mハードル   | 7位 | 15秒95（県出場）  |
| ・5年男子100m      | 4位 | 15秒17（県出場）  |
| ・6年男子4×100mリレー | 8位 |             |

55秒88 でした。

## 大きな声で、はっきりと読んでみよう！

大きな声で、はっきりとあいさつや発表等ができるようになってほしいと願っていますが、その一環として、つどい（全校集会）の校長講話の時間に、「声に出して読む」ことをテーマに、講話ではなく授業をしました。学年ごとに子どもたちに、声を出して読むことを楽しいと感じてもらうことをテーマにした授業です。

※裏面に続く。

各学年の教材は、詩・早口言葉・古典などから私が出しました。

<p><b>お祭</b></p> <p>わっしょい、わっしょい、 わっしょい、わっしょい。 祭だ、祭だ。 背中に花がさ、 おねにははらがけ、 むこうはちまき そろいのはつびで、 わっしょい、わっしょい。</p> <p><b>一行追い読み</b></p>	<p><b>早口ことば</b></p> <p>かえるぴよこぴよこ 三びよこぴよこ 合わせてぴよこぴよこ 六びよこぴよこ</p> <p>でんでらるうなら でんでるばってん でんけんけんけん こんこんけんけん</p> <p><b>二行追い読み</b></p>	<p><b>竹取物語</b></p> <p>今は昔、竹取の翁といふもの ありけり。野山にまじりて 竹を取りつづ、よろづのことに 使ひけり。名をば、讃岐造となむ いひける。 その竹の中に、もと光る竹なむ 一筋ありける。あやしがりて、 寄りて見るに、筒の中光たり。 それを見れば、三寸ばかりなる人 いとつくしうてゐたり。</p> <p><b>みんな読み</b></p>
2年生	4年生	6年生

※ 1年生は「あいうえおで遊ぼう」、3年生は「つけたし言葉」、5年生は「機内アナウンス」にチャレンジしました。

体育館でスクリーンに題材を映し、まずは「2年生を中心に」行いました。「中心に」ですから他の学年の子も言いたい子は言ってもOKです（こういう時には黙って聞いていないで、どんどん言ってみた方が得です。）。

どの学年の時も、『追い読み』からしました。2年生の「1行追い読み」とは、1人が1行読んだら同じ行を他のみんなで読みます。今回は私が1行読んで、同じ行を2年生全員で読みました。こうすると、目と耳から情報が入って来るので、自分だけで読むだけよりもずっと読みやすくなります。ご家庭でもいかがでしょうか？

様々な日本語の魅力が詰まったものを取り上げてみました。最後の6年生の「竹取物語」は古典で、6年生といえどもあまり慣れていないはずですが、「、」や「。」で区切りながら追い読みをしたり、「。」だけで区切って追い読みをしたりしながら、最後には自分たちだけで読み切りました。さすが6年生でした。

あいさつや教室での発表、そして、11月15日（土）の学習発表会での学年ごとの劇や歌や発表で、どの子どもがはっきりと大きな声で言えるよう、指導・支援をしてまいります。